

中央区の森環境  
ふれあい村構想(抜粋)

〈森林保全の支援方策〉

- ・整備支援の拡大
- ・区内事業者の環境学習  
森林体験の場としての活用
- ・「中央区の森」のデザイン化

〈木材資源の利活用方策〉

- ・間伐材の有効利用
- ・公共土木材等への活用

〈地域の自然・文化などの体験と  
交流促進のための方策〉

- ・地域資源を取り込んだ新たな  
プログラムの充実
- ・小学校での学習

平成28年度の取組み

施策・内容
「中央区の森（数馬地区）」で民有林37.4haを活用した森林保全活動 ・間伐作業 2.7ha ・下草刈り作業 6.2ha ・作業路整備 1,100m
「中央区の森（南郷地区）」で村有林4.9haを活用した森林保全活動 ・下草刈り作業 1.5ha ・歩道新設 400m ・広葉樹植樹 125本(0.08ha) ・広葉樹補植 200本
中央区の森紹介事業・檜原村紹介展の実施 ・環境情報センターにおいて、7月（来場者数：970名）、8月（来場者数：623名）、3月（実施予定）に実施した。  ・「中央区の森(南郷地区)」に植栽した広葉樹の生育状況を区ホームページへ掲載する等、情報発信の充実を図った。
事業者参加の促進 ・2団体（64名）参加
自然環境調査 ・平成29年度の実施に向けて、調査方法等を具体的に検討し、「自然環境調査実施計画書」を作成した。

・豊海小学校の内装材(図書館の本棚や受付カウンター等)に活用した。
・公園等のベンチに活用(10基予定)
・土木資材等への間伐材の利活用について区内環境活動団体と検討した。

中央区の森体験ツアー 春：28名参加（35名応募） 秋：23名参加（23名応募） 中央区の森親子自然体験ツアー 夏：34名参加（74名応募）
中央区森の応援団が実施するツアーコーディネート事業の支援 ・2団体実施  ・各種イベントにおいて、中央区森の応援団及びNPO法人里山再生塾と協働し、輪投げ・丸太切り体験等を実施した。
区立小中学生の中央区の森事業への参加 ・小学校及び中学校で育成した苗木(H25採取分)を回収し、区内事業者が「中央区の森（数馬地区）」に植樹した。 ・平成29年度植樹用どんぐりの苗木(H27採取分)を小学校等に配布した。 ・区立阪本小学校の児童が「中央区の森（数馬地区）」へ行き、間伐や区内事業者が植樹したどんぐりの苗木の見学、檜原村小学生との交流を行うなど、森林体験や村との交流促進を図った。

平成29年度の取組み

太字：新規及び充実施策

	施策・内容	実施プログラム 2017
継続 →	「中央区の森（数馬地区）」で民有林37.4haを活用した森林保全活動 ・間伐作業 2.5ha ・下草刈り作業 6.0ha ・作業路整備 1,000m	施策 1
継続 →	「中央区の森（南郷地区）」で村有林4.9haを活用した森林保全活動 ・下草刈り作業 1.5ha ・歩道改修 400m ・広葉樹植樹 125本(0.08ha)	
継続 →	中央区の森紹介事業・檜原村紹介展の実施 ・環境情報センターにおいて、中央区の森紹介事業(7月・3月)及び檜原村紹介展(9月)を実施する。  ・区ホームページへ掲載した「中央区の森(南郷地区)」の苗木の生育状況を更新し、情報発信の充実を図る。	施策 2
参加促進 →	事業者参加の促進 ・年間3団体募集	施策 3
新規 →	自然環境調査の実施 ・「中央区の森(数馬地区)」の自然環境調査を実施する。 ・調査結果の公表等を通じて、中央区の森の未開な魅力を発信する。	施策 4

検討 →	・平成30年度以降の森林保全活動を踏まえ、区施設における活用方法について検討する。	施策 5
継続 →	・公園等のベンチに活用(10基予定) ・土木資材等への間伐材の利活用の実現に向けた方策を区内環境団体と検討する。	施策 6

継続 →	中央区の森体験ツアー 春・秋の2回開催 各回35名募集  中央区の森親子自然体験ツアー 夏に開催 35名募集	施策 7
継続 →	中央区森の応援団が実施するツアーコーディネート事業の支援 ・中央区森の応援団が実施するツアーコーディネート事業を支援する。  ・各種イベントにおいて、中央区森の応援団及びNPO法人里山再生塾と協働し、間伐材ワークショップ等を実施する。	施策 8
継続 →	区立小中学生の中央区の森事業への参加 ・区立小中学校で育成した苗木(H27採取分)を区内環境活動団体が中央区の森に植樹する。	施策 9